



第50号

あおもり 社会福祉士会だより

平成26年度公益社団法人 青森県社会福祉士会総会・研修会

平成26年度定時総会報告

平成26年5月25日(日)14:30-16:30

4/1付会員数 530名 出席 42名 委任状 252名
過半数 266名により成立。

同日14:30より平成26年度定時総会が開かれました。冒頭、奈良会長の挨拶では、会員による不祥事に対して、陳謝するとともに会員一人ひとりが今一度初心に戻り、各支部会合では倫理綱領の遵守についての取り組みをしてほしいとの呼びかけがありました。また来賓として青森県健康福祉部長様、青森県社会福祉協議会会长様、青森県医療ソーシャルワーカー協会様にご臨席いただき、本会に対する期待を含むご祝辞をいただきました。

総会議案では平成25年度の事業報告と決算報告がされたほか、組織改編に伴う委員会設置規程の改正、ばあとなあ青森にかかる諸規程、細則などを審議し、原案どおり承認を得ました。

最後の事務局報告では、今回の会員不祥事に対する対応についての経過報告があり、定刻に終了することができました



県健康福祉部長祝辞を代読される鈴木次長様

テーマ 「独立型社会福祉士の実態
～期待される役割と活動の実態～」
弘前学院大学 小川幸裕 先生

平成26年5月25日(日)13:00-14:15

参加者 38名

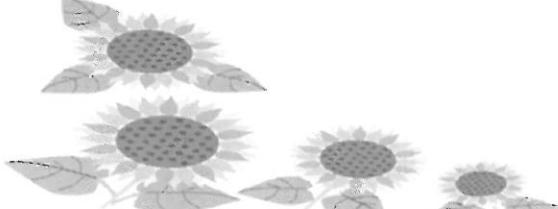
去る5月25日(日)平成26年度定時総会に先立ち、弘前学院大学社会福祉学部准教授小川幸裕先生による「独立型社会福祉士の実態～期待される役割と活動の実態」と題した講演が行われました。

小川先生の調査研究に基づく独立型社会福祉士の実態が報告され、個人事務所の多くは経営が安定しておらず、事務所の継続と収益の課題や、独立理由の一つである「地域貢献」と「社会福祉士本来の専門性の提供」は、それぞれ別物であるとの見解が示されました。

独立型社会福祉士の現状から様々な課題が提示されるなか、独立型社会福祉士には、自律性を發揮し、地域にない資源を自ら作る役割を担ってほしいと期待を述べ、盛会のうちに講演は終了しました。



御来賓の鈴木次長様、高杉専務理事様、伊藤康博様



《各支部活動計画》

●東 青 支 部

年間テーマ：「実践報告のイ・ロ・ハ（初步の初歩から発表まで）」

＜年間スケジュール＞

第1回 6月21日（土）17時30分から

　　テーマ：「実践報告とは（その必要性とテーマ選び）+名刺交換会」

第2回 8月29日（金）19時00分から

　　テーマ：「実践報告のまとめ方」

第3回 10月下旬

　　テーマ：「抄録・パワーポイントでの報告資料の作り方」

第4回 12月上旬

　　テーマ：実践報告「母子家庭児童への学習支援について（仮）」+忘年会

*支部会アンケートで要望の多かった「児童分野」のテーマで実践報告をしていただきます。報告者は最上和幸氏（本会会員）です。

第5回 2月下旬

　　テーマ：「実践事例報告会（発表練習とまとめ）」

*基本スケジュールは上記の通りですが、このスケジュール以外にも、支部会アンケートで要望の多かった「リーガルソーシャルワーク」についても取り上げる機会を作りたいと考えています。

他支部の会員のみなさまもぜひお越しください。

●中 南 支 部

中南支部は、平成26年4月末時点では会員数は144名、全体の27%を占める大所帯です。新加入の会員も含め、顔の見える、風通しのいい、情報共有できる支部を目指していくかなければなりません。

この機会に、これまで一度もお願いしていましたが、中南支部メーリングリスト未登録の方は登録方よろしくお願いします。

●西 北 五 支 部

今年度、西北五支部では、おもに3つの事業活動を計画しています。

①定例勉強会

前年度と同様に、副支部長が主担当者となり、管轄する各エリア内にて、支部会員のスキルアップや交流を図ることを目的として勉強会を開催します。会員一人ひとりにとって、より身近な場所で勉強会を開催することで、勉強会への参加率向上を図るとともに、あわせて、奥津軽の旬の食を味わいながらの新入会員歓迎会や忘・新年会も計画しておりますので、支部内だけでなく支部外の方々のご参加もお待ちしております。

②公開講座

例年同様に、今年度も学生や一般市民に対して、社会福祉や権利擁護への理解を深めていただくことを目的として公開講座の開催を計画しています。また、前年度同様、気軽にご参加いただけるよう、支部会員による福祉相談コーナーや介護体験コーナーなどの同時開催を予定しています。

③（仮）つがる西北五圏域地域包括・在宅介護支援センター社会福祉士ネットワーク事業

西北五圏域内の各地域包括・在介に多くの支部会員が社会福祉士として従事している利点を活かし、ネットワーク化を図ることで、地域包括ケア推進の一助となることを目的として、今年度、新たに計画しました。

今年度は、事務局の立上げや事例検討、勉強会などの開催を計画しております。

その他、より身近な社会福祉士として周知を図るためにも、支部専用のFacebookページなどにより情報を発信していきます。

●上 十 三 支 部

上十三支部では、年間4回の支部会を予定しています。今年度は「貧困問題」をテーマに1年間活動していくこととしており、第1回はすでに終わっていますが、総会と研修会を行いました。研修会では、八戸学院大学人間健康学部の村田隆史先生をお呼びし「貧困問題の諸相と社会福祉士として向き合う視点」というテーマで講義をしていただきました。

第2回は、例年は他支部との交流研修会を企画しています。今年度は現時点ではどの支部にもお声がけしてはいませんが、8月後半から9月中に一緒に

やつてくれる支部がありましたら、上十三支部の事務局までご連絡ください。

第3回は、三八支部と合同で県の補助事業を活用し、一般の方を対象とした「三八・上十三支部合同セミナー」を開催予定です。昨年第1回の合同セミナーを開催し、さまざまな反省点があつたことから、今年度は昨年度以上の参加者を目標に企画したいと考えています。

第4回は、上十三支部の会員を対象にテーマを決めて年度を振り返るワークショップを開催する予定です。

●三八支部

*支部総会

日時：平成26年6月6日（金）18：30～

場所：八戸市総合福祉社会館

*第1回支部研修会

日時：平成26年6月6日（金）19：00～

場所：八戸市総合福祉社会館

テーマ「SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）におけるサイバー犯罪」～情報モラルと犯罪被害そして加害者にならないために～

講師：工藤靖之 氏（青森県警察本部生活安全部保安課サイバー犯罪対策室係長）

*第2回支部研修・懇親会

日時：平成26年9月（詳細未定）

テーマ：「遺品整理等に関すること」

講師：調整中

*合同セミナー（上十三支部と合同で公開講座）

日時：平成26年11月（詳細未定）

（県委託事業予定）

*第3回支部研修・新年会

日時：平成27年2月（詳細未定）

テーマ「大人のひきももりに関すること」

講師：調整中

●下北支部

今年度の活動としては、研修会を3回実施予定です。各会員が社会福祉士として多種業務に携わっているため過去の研修会の内容はバラエティに富んだ内容になっており、今年度も様々な角度からのテー

マで研修会を開催する予定です。テーマは未定ですが、公開講座形式の研修会もあるため一般の方も興味を持てるようなテーマを考えています。

また、今年度は会員間の交流を深めるため、名刺交換会を実施する予定です。会員数は約30名と青森県内の支部の中では少なく、まだお互い顔を知らないメンバーもいるため、そういった方との交流を深めていきたいと思い、現在企画しております。

さらに、これまでどおり支部会報を2ヶ月に1回配信して情報発信できるように計画しています。支部会報においても各会員の情報をお知らせすることで交流を深める手段としています。

《各部会委員会活動計画》

◆ソーシャルワーカーデ一部会

今年度より、青森県医療ソーシャルワーカー協会、青森県精神保健福祉士協会、青森県介護福祉士会、青森県社会福祉士会の4団体で、ソーシャルワーカーデー実行委員会を立ち上げ、イベントを開催する事となりました。

ソーシャルワーカーデー2014 in あおもり

～ソーシャルワーカーって誰のこと？！～

日時：平成26年7月26日 土曜日

午後1時30分～午後4時

場所：青森市文化観光交流施設 ワ・ラッセ 2階

イベントホール

入場料：無料

内容：【1部】

ソーシャルワーカーについてのビデオ上映

【2部】

「ソーシャルワーカー聞いてみよう！」

県内のソーシャルワーカーや養成校が、各ブースに分かれて、質疑応答や意見交換を行います。

「ソーシャルワーカーになるには？相談コーナー」

資格取得や就職等について、ソーシャルワーカーや養成校がアドバイスします。



◆医療ソーシャルワーカー部会

今年度も当部会は「医療機関に勤務する社会福祉士間の連携構築と交流」を目的とし、積極的に部会活動に取り組んでいきたいと思っています。

また、医療機関のソーシャルワーカーとして、関連する他協会や団体、養成校等とも情報共有しながら、各会との合同の研修会等を企画検討していきたいと考えています。

◆ハンセン病問題支援部会

ハンセン病問題支援部会の目的と活動について

- ① 国立療養所 松丘保養園の利用者と交流を深め、園の将来構想実現に協力していく
 - 松丘保養園の観桜会、納涼祭への参加
 - 「松丘保養園の将来構想をすすめる会」参加
 - 保養園退所者支援（年1回の電話による安否確認の実施）
- ② ハンセン病問題についての普及啓発を行う
 - 「松丘保養園の将来構想をすすめる会」での青森ねぶた時の普及啓発うちわの配布に参加
 - 小中学生向けのハンセン病問題普及啓発出前授業の企画
- ③ ハンセン病問題についての研修会・勉強会を開催し、会員内のハンセン病問題についての理解を深める
 - 会員の研修会開催
 - 「松丘保養園の将来構想をすすめる会」の総会研修会に参加

ハンセン病問題はすでに解決したと考えられがちですが、入所者の中には平均年齢85歳を超えた今でも、地域社会の差別や病気への偏見におびえ、故郷に帰らない（帰れない）人が沢山います。このような差別や偏見によって「人間らしい生活」が奪われるようなことが二度と起こらないためにも、本部会ではハンセン病問題を若い世代に伝えていくとともにに入所者の方々の安心した暮らしの実現に協力していきます。



◆ばあとなあ青森 2014 の取り組み

本委員会では年一回活動報告を取りまとめています。2014.1月末日現在の調査では、名簿登録者111名（内受任者数73名）、受任件数226名（内後見監督1名、任意後見1名）と、年々利用件数は増加しております。最近の傾向としては、特に青森市長や弘前市長の申し立てが多くなっており、既に後見受任があっても後見人の病気や不適切な支援による交代がみられます。

今年度は、本会において2014年後見人養成研修の実施を予定しており、約20名の参加が見込まれています。当該研修は現在のところ、本県で来年度の開催の予定はありません。

また、本委員会では、ばあとなあ会員に対し、支部を中心としたばあとなあ登録者の受任調整、フォローアップ体制の確立並びに、会員の資質向上のために下記のとおりの事業を行う予定です。

【具体的取り組み】

- ・日本社会福祉士会連合会移行に伴う運営体制の強化
- ・各支部等を通じた受任調整。
- ・県内6支部毎の受任者調整とスーパーバイズの実施。
- ・年6回のばあとなあ運営会議における報告、情報交換。
- ・日本社会福祉士会へ事業報告（2月時点の状況を4月に報告）
- ・受任者面接
- ・「支援者のための成年後見活用講座」の開催（弘前市予定）
- ・「フォローアップ研修」の開催
- ・2014年成年後見人養成研修の実施（7月～10月）

◆第三者評価事業委員会

平成26年度は2件の第三者評価（乳児院1件、特別養護老人ホーム1件）を実施する予定で調整中です。年間のスケジュールも6月に開催した委員会にて打合せを行ないました。また、福祉サービス第三者評価調査者および社会的養護関係施設評価調査者の養成研修を今年度実施する予定であるとの連絡

も推進委員会より受けており、第三者評価事業の推進観点からも、一層の評価調査者の登録が求められます。地域の福祉サービス事業所から選ばれ、継続的に青森県社会福祉士会（以下、当会）の第三者評価機関を活用いただける様、今年度は評価調査者の増員にも注力していきたいと考えております。そして当会の第三者評価事業がより身近な存在である事を周知するために必要な広報活動も展開していくべきと考えております。平成27年度（次年度）においては皆様の協力もあり、既に1件の受審依頼がありますが、まだ若干の余力もございます。会員皆様の事業所含め第三者評価を検討している事業所があればお知らせいただければ幸いです。

※評価調査者養成研修については詳細が分かり次第、会員皆様に案内致します。

Information

インフォメーション

寄付金情報

26年1月～26年6月迄

人数 60名

金額 404,230円

新事務局員から

青森県社会福祉士会の皆様、はじめまして。
5月1日より事務局で勤務させていただいております今と申します。早く仕事を覚えて、皆様のお役に立てるよう頑張りたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願ひ致します。

「わたし、私の職場」

～介護老人保健施設 みのり苑～

上十三支部 上野 雄太

介護老人保健施設みのり苑は平成6年4月に開設、入所定員100名、通所定員100名の施設です。多くの方々に支えられながら今年で20周年を迎えることができました。

当法人は「安・愛・温」を理念に掲げ、お客様が眞の安らぎを得られるよう深い愛情と温もりの精神をもったサービス提供に努めています。そして老健施設の基本理念である在宅と病院の中間施設としての機能を果たすべく在宅復帰を推し進め、平成24年度からは在宅強化型老健施設を算定、入所時より自宅での生活を見据えたケアやリハビリを実施しています。

併設している通所リハビリテーションでは、施設内の訓練だけでなく、青空リハビリと称した屋外での訓練を実施し、訓練成果発揮の場として奥入瀬渓流沿いを数回に分けて走破する計画も進んでいます。また、職員手作りによる縁日行事や男性利用者をターゲットにした外出行事、天然温泉を利用した入浴もご好評いただいています。

会員数情報

26年5月31日現在

会員数 546名

入会率 37.53% (全国1位)

編集後記

皆さん、新年度が始まり、バタバタしているうちに夏がやってきますね。ビールのおいしい季節、心身ともにリフレッシュしてこの夏も乗り切りたいものです。

平成26年度 委員会・部会 一覧

＜委員会＞組織委員会（ユース部会・ソーシャルワーカーデ一部会）

虐待防止啓発委員会 ソーシャルワーク委員会（医療ソーシャルワーカー一部会・

スクールソーシャルワーカー一部会・ハンセン支援部会・地域包括支援センター一部会）

＜事業部＞広報事業運営委員会 統一模擬試験事業運営委員会 福祉サービス第三者評価事業運営

委員会 権利擁護センターばあとなあ青森運営委員会 社会福祉士会生涯研修事業運営

委員会 高齢者・障がい者権利擁護支援事業運営委員会

あおもり社会福祉士会だより

発行日 2014年7月15日

発行人 奈良秀夫

編集 広報事業運営委員会

公益社団法人 青森県社会福祉士会

〒030-0822

青森市中央3丁目20-30

県民福祉プラザ内

TEL 017-723-2560

FAX 017-752-6877

<http://homepage2.nifty.com/aacs/>

E-mail aacs@nifty.com



広告を募集しています！

あおもり社会福祉士会だより（年3回発行予定）では、広告を掲載してくださる事業所や企業を募集しています。希望される事業所は事務局までお問い合わせ下さい。

掲載料金は、名刺サイズで1,000円～です。



通所介護事業所 桃源

認知症対応型共同生活介護事業所 桃源

〒030-0911

青森県青森市造道3丁目21-21

電話 017-765-6175

FAX 017-765-6176

URL <http://www2.actv.ne.jp/~tougen1/>

学校法人西野学園 社会福祉士通信課程

（札幌医学技術福祉歯科専門学校 附帯教育事業）

充実のサポート体制で、社会人の資格取得をバックアップ！

＜サポート1＞ 働きながらでも学びやすい、5月入学＆1年10ヶ月の学習

＜サポート2＞ 面接授業や国家試験対策講座は、函館市や札幌市などで開講

＜サポート3＞ 入学金免除、教育訓練給付制度指定講座（支給条件あり）

★第26回社会福祉士国家試験 本課程合格率41.9% ※全国平均27.5%

●修業年限：1年10ヶ月（平成27年5月入学～平成29年2月卒業）

●出願期間：平成26年10月1日（水）～平成27年4月14日（火）消印有効

お問合せ：札幌医学技術福祉歯科専門学校（西館） 社会福祉士通信課程

住所：札幌市西区西野2条2丁目8-15 電話：011-661-3360

＜姉妹校＞ 函館臨床福祉専門学校/札幌心療福祉専門学校/札幌リハビリテーション専門学校